

中 期 事 業 計 画

令和4年度～令和6年度重点事項

社会福祉法人 友愛会

令和4年3月作成

第1 令和4年度～令和6年度（3カ年）「友愛会」経営基本計画

平成13年5月に社会福祉法人緑寿会が設立され、平成14年10月に特別養護老人ホーム山県グリーンビレッジ（入所60、ショート5）が開設されてから、19年が経過し、令和4年10月から21年目に入ろうとしている。

その間、平成20年4月にはユニット型30床の増床も行い、入所定員90名、ショートステイ5名の中規模の施設となった。

また平成23年度には、医療法人友愛会との連携強化を目的に、社会福祉法人名も、医療法人と同じく友愛会と法人名の変更を行った。

平成25年10月岐阜市長良に旧岩砂病院を改築して、短期入所施設長良グリーンビレッジ定員46名を開設した。

平成31年度から令和3年度までの基本計画の中で掲げた重点目標の達成状況については、

- | | |
|--------------------------|-----------|
| (1) 社会福祉法人組織の強化 | 令和1年度～ |
| (2) 利用者サービスの充実と促進 | 継続中 |
| (3) ITを使った記録と各種マニュアルの見直し | 平成25年度～ |
| (4) 人材確保・育成及び組織の強化 | 平成25年度継続中 |

職員を含む集団結核という事例を発生させ（平成28年度）以後は健康管理を第一番に掲げ経営の基本としたが、コロナ発生が在宅サービスを行う長良グリーンビレッジでも影響を受け、法人全体の経営の困難さが感じられた。

法人理事長が岩砂和雄から、娘の渡邊英里に変更され、長期的展望が法人にとって描きやすいこととなった。また組織、リハビリの強化として、令和元年度、3年度に理学療法士の採用を行い、介護技術の向上や施設のセールスポイントの役割を担っている。

人材確保として特定技能実習生の受け入れは、インドネシアから候補者の決定や受け入れ環境の整備までは進展したが、コロナの影響で入国受け入れ待ちの状態が続き、次年度への課題となった。第三者評価受審も同じ影響で次年度へ持ち越しとなった。

経営基盤となる利用者の稼働率は、ショートステイを含む特養山県グリーンビレッジは97.5%の目標を達成、長良グリーンビレッジにおいても93%をクリアするなど順調に経営推移した。

令和元年度から令和3年度重点目標

<1>組織強化の構築

- (1) リハビリ強化・長良 GV セールスポイントの設定（理学療法士の採用）
- (2) 現場責任者（課長級）の異動（広域的視野の研鑽）
- (3) 介護報酬改定（令和3年度）への対応、加算取得への取り組み

<2>利用者サービスの充実と促進

利用者の人権と尊厳を守り、きめ細やかな利用者のサービスの充実を図る。

- (1) 「個別支援計画」「業務標準化」等の充実と促進を図る。
- (2) 中重度の入所受け入れによる「いのち」への支援充実。
- (3) 更なる看取りケアの取り組みとケアの向上

<2>ITを使った記録と各種マニュアルの見直し

- (1) 各種マニュアルの見直しと業務の効率化を図る

<3>人材確保と育成

- (1) 第三者評価受審
- (2) 介護プロフェッショナルキャリア段位取得取り組み
- (3) 責任体制と報酬とを位置づけた組織体制の強化
- (4) 外国人労働者の雇用（特定技能実習生）
- (5) 社会貢献 障がい者雇用

第2 法人事業計画

[中期目標の実現]令和4年度～令和6年度
安定的経営の実現にむけて

項 目	内 容	時 期 等
1 組織の強化	(1) 理事担当制へ（事務局長長良在勤） (2) 人材の確保 ①人材確保 外国人介護者採用 取り組み ②年次休暇の取得促進6日 (3) 体制の充実 ①リハビリ強化 ②法令遵守規定の整備 ③生産性向上への取り組み	R5年度 R4年度～ H28年度以降引き続 R1年度,R3年度～ H22年度から継続 R5年度から～
2 安定経営	1) 事業展開の構築 長良グリーンビレッジ立替検討開始 長良グリーンビレッジ給食形態変更 クックチル導入 2) ①特養稼働率の向上 97.8%目標 ②ショート長良稼働率 93%目標	R5年度～ R5年度～ R5年度～
3 地域社会へ 貢献と発信	1) 地域との交流 ①実習・研修生の積極的受け入 ②情報発信の推進（ホームペー ジの積極的活用） ③地域貢献への検討 （収益の1%体育行事等地域支援に 提供）	H21年度から継続 〃 H26年度から継続 R1年度～

第3 山県グリーンビレッジ事業計画

利用者サービスの充実と促進

サービス目標	重点事項	備考
1 利用者本位のサービスの実践	(1) 利用者の尊厳の保持と自立支援 (2) ITを活用した記録の改善と業務の省力化 (3) ADLの低下防止とQOLの向上 理学療法士の採用 (4) 医療的管理の充実と連携 (5) 豊かな食生活を提供と向上 (6) 非日常の場面の設定と外出を含めた行事の積極的な取り組み (7) 介護度4・5の積極的受け入れ 加算取得、「いのち」への支援 (8) 看取りへの積極的な取り組み	会議等で確認実践 H21年度から継続 R3年度～ 委託業者との協働 H25年度～ H28年度 H22年度～
2 職員の資質向上	(1) 各種外部研修会、大会に積極的に派遣 (2) 専門職としての外部研修に計画的に派遣 (3) 計画的施設内研修実施 (外部機関を使って研修) (4) 各種会議、委員会を通して課題研修 (5) 資格取得奨励 介福、ケアマネ、痰吸引 (6) 介護プロフェッショナルのキャリア段位取得、アセッサー資格者養成 段位取得毎年度数名 (7) 第三者評価受審	初任、中堅、認知症基礎研、生活相談員研修、ユニットリーダー研修 R1年度～ 褥瘡ケア、DS記録感染など 介護福祉士等資格取得に手当 H29年度～ R4年度

<p>3 安定経営へ 努力</p>	<p>(1) 収入確保と経費節減 稼働率97.8%目標 (入所)</p> <p>(2) 人材の確保 ①経営状況等情報開示し、職員参加型の経営をする。また収入を確保し待遇の向上を図る。 ②外国人介護者採用(特定技能実習生)</p> <p>(3) 施設・設備の維持</p> <p>(4) 生産性向上への取組</p>	<p>目標稼働率 特養97.8%</p> <p>介護職の4百万円 年収の実現20名以上 R4年度～</p> <p>R4年度</p> <p>設備の点検、計画 に基づく改修</p> <p>R5年度～</p>
<p>4 地域社会との 協働と貢献</p>	<p>(1) 地域との連携・発信の強化 ①地元小中学校、保育園との交流 ②地元行事への参加と協賛 ③地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携 ④医療法人友愛会との連携 ⑤地域子ども見守り運動参加 ⑥市との連携 ⑦地域貢献収益の1%提供</p>	<p>H14年度～</p> <p>R1年度～</p>

第4 長良グリーンビレッジ

事業種別 短期施設入所（ショートステイ）
 予定地 岐阜市長良福光161-1（旧岩砂病院活用）
 定員 46名
 沿革 平成25年10月事業開始1フロア
 平成26年4月 2フロア稼働

サービス目標	重点事項	時期等
経営の強化 体制の構築	①組織体制の強化 主任2体制、係長制度廃止 ②給食クックチル導入 ③配置人員の見直し 適正配置へ ④稼働率の向上 93%目標	R5年度～ R5年度 R1年度～ R3年度
利用者サービスの向上	①在宅時の支援継続を考える ②個別処遇への対応 ③緊急入所の受け入れ ④利用者情報の共有し事故等減らす	H25年度～
職員の資質向上	(1) 介護プロフェッショナルのキャリア段位取得、アセッサー資格者養成 (2) 介護福祉士資格奨励	H29年度～
地域福祉へ貢献	岐阜市、ケアマネとの連携 オレンジカフェの開催	H25年度～ H29年度～